

おだわら

昭和56年

10月

発行 小田原市役所 〒250 小田原市荻窪300番地
 編集 広報課 印刷 文化堂印刷(株)
 人口 178,467 世帯数 52,420 (9月1日現在)

九月の市議会定例会で、長い間の懸案でした市立病院の建設事業についての予算が原案どおり議決されました。これによって、病棟など建物の老朽化に加え狭狹のため利用者のみなさんに迷惑をかけていました。市立病院は、この秋からよいよ全面的な改築に着手することになりました。市立病院は、昭和三十三年に開設して以来、この地域の医療水準の向上に努力してきましたが、進歩する現代の医療に対応しながら、今後も県西地域の基幹病院としての役割を果たしていくためには、今回の建設事業は欠かすことができません。この事業について、市民のみなさんの深いご理解とご協力をお願いいたします。



市立病院全面改築へ

**全館完成は昭和60年
継続費79億円を計上**

市立病院の建設事業は、今年度から発足しました「新小田原計画」

基本計画（昭和六十年度まで五

か年間の基本的施策）の中で、最

も大きな事業であります。

建設工期は、今秋から昭和五十

九年度末までの四か年にわたり、

事業費は四か年の継続費額が七

十八億九千二百万円といふもので

企業債（政府資金などの借入金

が六十五億円、県の補助金が三億

円。それに、病院会計資金として

五億六千八百万円、さらに一般会

計から五億一千四百円を見込ん

であります。

***三棟で二万三千平方㍍**

全面的に改築される新病院は、

現在地に北側から順に地上七階地

下一階の本館病棟と管理部門、

地上三階地下一階の中央診療棟、

二階建ての外来診療棟の三棟が並

び、総延べ床面積は三万三千三百

一平方㍍となります。

そして、その施設と設備につい

ては、質的には総合病院としての

機能の向上と、量的には病床数の

増加による供給量の拡大を図ると

ともに、各部門の機能が効率的に

発揮できるよう院内の合理化と

患者のみなさんの利用しやすさを

十分に配慮した計画内容になつて

います。

***診療科目と病床を増設**

設置される診療科目は、現在の

内科・小児科・外科・整形外科・皮

膚科・泌尿器科・放射線科の十科

目に、麻酔科を加え、内科につい

ては、さらに循環器科・消化器科

・呼吸器科を分科して機能の充実を

図り、外科についても脳神経外科

を分科して十五科目になります。

病床数は、市立病院が果たして

いる役割を考慮して、急性・慢性

***市民の依存率も増加**

疾患と救急病床を含めて三百六十

床を設置するほか、老人病床に

対応するための老人病床を五十床

合、市立病院との程度利用して

いるかにも触れています。これは

なっています。この老人病床の設置は、

市民の国保適用の方を利用した

病床数は、市立病院が果たして

いる役割を考慮して、急性・慢性

疾患と救急病床を含めて三百六十

床を設置するほか、老人病床に

対応するための老人病床を五十床

合、市立病院との程度利用して

いるかにも触れています。これは

なっています。この老人病床の設置は、

市民の国保適用の方を利用した

病床数は、市立病院が果たして

いる役割を考慮して、急性・慢性

疾患と救急病床を含めて三百六十

床を設置するほか、老人病床に

対応するための老人病床を五十床

合、市立病院との程度利用して

いるかにも触れています。これは

なっています。この老人病床の設置は、

市民の国保適用の方を利用した

病床数は、市立病院が果たして

いる役割を考慮して、急性・慢性

疾患と救急病床を含めて三百六十

床を設置するほか、老人病床に

対応するための老人病床を五十床

合、市立病院との程度利用して

いるかにも触れています。これは

なっています。この老人病床の設置は、

市民の国保適用の方を利用した

病床数は、市立病院が果たして

いる役割を考慮して、急性・慢性

疾患と救急病床を含めて三百六十

床を設置するほか、老人病床に

対応するための老人病床を五十床

合、市立病院との程度利用して

いるかにも触れています。これは

なっています。この老人病床の設置は、

市民の国保適用の方を利用した

病床数は、市立病院が果たして

いる役割を考慮して、急性・慢性

疾患と救急病床を含めて三百六十

床を設置するほか、老人病床に

対応するための老人病床を五十床

合、市立病院との程度利用して

いるかにも触れています。これは

なっています。この老人病床の設置は、

市民の国保適用の方を利用した

病床数は、市立病院が果たして

いる役割を考慮して、急性・慢性

疾患と救急病床を含めて三百六十

床を設置するほか、老人病床に

対応するための老人病床を五十床

合、市立病院との程度利用して

いるかにも触れています。これは

なっています。この老人病床の設置は、

市民の国保適用の方を利用した

病床数は、市立病院が果たして

いる役割を考慮して、急性・慢性

疾患と救急病床を含めて三百六十

床を設置するほか、老人病床に

対応するための老人病床を五十床

合、市立病院との程度利用して

いるかにも触れています。これは

なっています。この老人病床の設置は、

市民の国保適用の方を利用した

病床数は、市立病院が果たして

いる役割を考慮して、急性・慢性

疾患と救急病床を含めて三百六十

床を設置するほか、老人病床に

対応するための老人病床を五十床

合、市立病院との程度利用して

いるかにも触れています。これは

なっています。この老人病床の設置は、

市民の国保適用の方を利用した

病床数は、市立病院が果たして

いる役割を考慮して、急性・慢性

疾患と救急病床を含めて三百六十

床を設置するほか、老人病床に

対応するための老人病床を五十床

合、市立病院との程度利用して

いるかにも触れています。これは

なっています。この老人病床の設置は、

市民の国保適用の方を利用した

病床数は、市立病院が果たして

いる役割を考慮して、急性・慢性

疾患と救急病床を含めて三百六十

床を設置するほか、老人病床に

対応するための老人病床を五十床

合、市立病院との程度利用して

いるかにも触れています。これは

なっています。この老人病床の設置は、

市民の国保適用の方を利用した

病床数は、市立病院が果たして

いる役割を考慮して、急性・慢性

疾患と救急病床を含めて三百六十

床を設置するほか、老人病床に

対応するための老人病床を五十床

合、市立病院との程度利用して

いるかにも触れています。これは

なっています。この老人病床の設置は、

市民の国保適用の方を利用した

病床数は、市立病院が果たして

いる役割を考慮して、急性・慢性



国際障害者年を考えよう⑤

障害者へのエチケット

今年は「国際障害者年」です。広報紙では、市民のみなさんが障害者の方々に対する理解を深めていただくために、シリーズでこの問題を取り上げています。

今回は、このシリーズの最終回として、街づくりと体の不自由な人に対するエチケットについて紹介します。

街づくり

地下街に降りる階段や歩道橋の階段の端が、白や黄色に塗られているのに気付かれたことがありますか。これは、目の不自由な方が見やすいようにということで、ボランティアの方々が塗っているものです。

また、交差点で「どうりやんせ」のメロディーが流れているのをご存知ですか。これは、目の不自由な方に信号を知らせるためのもので、歩道に敷いてあるボツボツした黄色のプレートは、点字ブロックといい、これは目の不自由な方を誘導したり、バス停を知らせたりするものです。

このように障害者が安心して街に出られるよう市も積極的に対応してきています。しかし、点字ブロックの上に物を置いたり、歩道の上に荷物を置いて歩道の上に荷物を置いたりしては、障害者の方にとってかえって危険になります。障害者のための施設については、みんなで気をつけましょう。

補聴器の使い方など

難聴者教室を開催

午後1時～4時

会場 市社会福祉センター4階・講堂

内 容

◆ 講演「補聴器の上手な選び方と使い方」

◆ 個人相談

◆ 問い合わせ 福祉課厚生係

電話 33-1467

11月14日(木)

午後1時～5時

内 容

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

志澤デパート

第一勧業銀行

治療を受けければ

健康人と同じよ

11月10日(火)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月11日(水)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の食事療法」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月10日(火)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月11日(水)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月10日(火)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月11日(水)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月10日(火)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月11日(水)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月10日(火)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月11日(水)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月10日(火)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月11日(水)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月10日(火)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月11日(水)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月10日(火)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月11日(水)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月10日(火)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月11日(水)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月10日(火)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月11日(水)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月10日(火)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月11日(水)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月10日(火)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月11日(水)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

◆ パネル等の展示

11月10日(火)

午後1時～2時

内 容

◆ 講演「糖尿病の恐ろしさと予防」

◆ 相談及び尿検査・血液検査

広報おだわら

体育の日・10月10日

体育施設を開放

陸上競技場・庭球場・スポーツ会館

自由に利用してください 協会の指導が受けられます



母と子の体力づくり

親子いつしょにさわやかな汗をかいてみませんか。

日時 十月七日から十月二十二日(前期)、一月二十三日から月二十七日(後期)の毎週土曜日

いずれも午後一時~四時

会場 市体育館

定員 二十組・四十人。定員になり次第締め切ります。

参加料 親子千二百円(傷害保険料)

指導員 小田原市体操研究会

坂元照さんほか

申込方法 十月十九日から三十日まで市役所体育課(五階へ直接申し込んでください)で申込ください。

問い合わせ 市教育委員会体育課 電話③1733

問合せ 小田原スポーツ会館電話③2465

指導 東海大学教授 田中誠

会場 スポーツ会館

相談日 十月十五日(木)

時間 午後三時~六時

問い合わせ 小田原市高齢者会館電話③1583

問い合わせ 小田原市民協同組合会館電話③2465

問い合わせ 小田原市高齢者会館電話③1451

問い合わせ 小田原市高齢者会館電話③0210

問い合わせ 小田原市高齢者会館電話③1453

問い合わせ 小田原市高齢者会館電話③1583

問い合わせ 小田原市高齢者会館電話③1451

城址マラソン 11月1日

だれでも参加できます

◆注意 利用に際しては、競技場に掲示している注意事項を必ず守ってください。なお、競技場内では専用バイクか運動ぐつを使用してください。

お母さんの体力づくりに婦人体操教室へ

おめでとう高橋さん夫妻
市民会館の結婚式 7,500組目

◆対象 指導者 婦人体操リーダー

◆会場 市体育館

◆電話 ③1733

◆申込み及び問い合わせ 先

◆申込方法 申込員四人

◆申込期間 十月十一日(月)から

◆申込料金 五百円(スポーツ傷害保険料)

◆申込場所 市役所体育課へ会費

◆問い合わせ 市教育委員会体育

◆申込み及び問い合わせ 先

◆申込方法 申込員四人

◆申込期間 十月十一日(月)から

◆申込料金 五百円(スポーツ傷害保険料)

◆申込場所 旧市役所跡地

◆問い合わせ 市役所体育課

◆申込み及び問い合わせ 先

◆申込方法 申込員四人

◆申込期間 十月十一日(月)から

◆申込料金 五百円(スポーツ傷害保険料)

◆申込場所 小田原市役所跡地

◆問い合わせ 市役所体育課

◆申込み及び問い合わせ 先

◆申込方法 申込員四人

◆申込期間 十月十一日(月)から

◆申込料金 五百円(スポーツ傷害保険料)

◆申込場所 小田原市役所跡地

◆問い合わせ 市役所体育課

◆申込み及び問い合わせ 先

◆申込方法 申込員四人

◆申込期間 十月十一日(月)から

◆申込料金 五百円(スポーツ傷害保険料)

◆申込場所 小田原市役所跡地

◆問い合わせ 市役所体育課

◆申込み及び問い合わせ 先

◆申込方法 申込員四人

◆申込期間 十月十一日(月)から

◆申込料金 五百円(スポーツ傷害保険料)

◆申込場所 小田原市役所跡地

◆問い合わせ 市役所体育課

◆申込み及び問い合わせ 先

◆申込方法 申込員四人

◆申込期間 十月十一日(月)から

◆申込料金 五百円(スポーツ傷害保険料)

◆申込場所 小田原市役所跡地

◆問い合わせ 市役所体育課

◆申込み及び問い合わせ 先

◆申込方法 申込員四人

◆申込期間 十月十一日(月)から

◆申込料金 五百円(スポーツ傷害保険料)

◆申込場所 小田原市役所跡地

◆問い合わせ 市役所体育課

◆申込み及び問い合わせ 先

◆申込方法 申込員四人

◆申込期間 十月十一日(月)から

◆申込料金 五百円(スポーツ傷害保険料)

◆申込場所 小田原市役所跡地

◆問い合わせ 市役所体育課

◆申込み及び問い合わせ 先

◆申込方法 申込員四人

◆申込期間 十月十一日(月)から

◆申込料金 五百円(スポーツ傷害保険料)

◆申込場所 小田原市役所跡地

◆問い合わせ 市役所体育課

◆申込み及び問い合わせ 先

◆申込方法 申込員四人

◆申込期間 十月十一日(月)から

◆申込料金 五百円(スポーツ傷害保険料)

◆申込場所 小田原市役所跡地

◆問い合わせ 市役所体育課

◆申込み及び問い合わせ 先

◆申込方法 申込員四人

◆申込期間 十月十一日(月)から

◆申込料金 五百円(スポーツ傷害保険料)

◆申込場所 小田原市役所跡地

◆問い合わせ 市役所体育課

◆申込み及び問い合わせ 先

◆申込方法 申込員四人

◆申込期間 十月十一日(月)から

◆申込料金 五百円(スポーツ傷害保険料)

◆申込場所 小田原市役所跡地

◆問い合わせ 市役所体育課

◆申込み及び問い合わせ 先

◆申込方法 申込員四人

◆申込期間 十月十一日(月)から

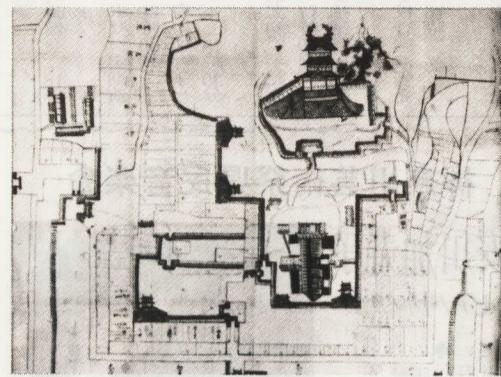
◆申込料金 五百円(スポーツ傷害保険料)

◆申込場所 小田原市役所跡地

◆問い合わせ 市役所体育課

◆申込み及び問い合わせ 先

◆申込



内閣より正確に描かれた、寸法も

元禄図等がありますが、この系

統の最大級で最後の図です。

大久保藩主某家の伝来図で、これには国立公文書館蔵

竹村家が明治初年に入手し、昭

和四十年に小田原市に寄贈さ

れたものです。非常に精度の高

い図で、三の丸以内が以前の城

内閣より正確に描かれた、寸法も

念物(樹木等)を紹介します。

小田原城古絵図(嘉永図)
10色 181・5×223センチ(城下町図)
小田原市蔵(天守閣保管)市内扇町・宮内義之介氏蔵(市立図書館保管)
2色 97×91センチ(城内図)

(明治図)

新指定文化財の紹介 5

これまで四回にわたって、城
絵図には戦国末期につくられた
ものが江戸末期まで描かれ続けて來
たことを説いてきました。今回はその縮めくりとして
両方の最後の図を説明します。

このシリーズの二回目に説明
した万治図系の城下町図に代わ
つて現れた延宝図(延宝三年)。一
六七五年、作図の系統の図
で、これには国立公文書館蔵
元禄図等がありますが、この系
統の最大級で最後の図です。

大久保藩主某家の伝来図で、
竹村家が明治初年に入手し、昭
和四十年に小田原市に寄贈さ
れたものです。非常に精度の高
い図で、三の丸以内が以前の城
内閣より正確に描かれた、寸法も

元禄図等がありますが、この系
統の最大級で最後の図です。
大久保藩主某家の伝来図で、
竹村家が明治初年に入手し、昭
和四十年に小田原市に寄贈さ
れたものです。非常に精度の高
い図で、三の丸以内が以前の城
内閣より正確に描かれた、寸法も

祭が、市と市教育委員会及び市文化団体連絡協議会との共催で、今年も十一月三日の「文化の日」を中央公民館と市民会館を主会場と

市教育委員会と県立小田原青少年会館の共催による、第十二回青年会館電話(22)1328

年文化祭が、今年も県立小田原青

少年会館を主会場に「ふれあい

をテーマとして下表の日程で開催

されます。

この青年文化祭は、青年たちが

手をつなぎ知恵を出し合ってつく

り上げるものですが、青年に限ら

ず、子どもからお年寄りの方まで

だれでも参加できる催しが沢山用

意されています。

みなさんは是非会場に立ち寄つ

てみてください。

◆問い合わせ 県立小田原青少年

会館 電話(22)1328

青年文化祭の日程

日 時	内 容
10月23日(金)	午前9時~ 午後6時45分 午後7時~9時
10月24日(土)	午前9時~ 午後3時~5時 午後5時~7時 午後7時~9時
10月25日(日)	午前9時~ 午後1時~2時 午後2時~4時
	展示 開会式 ダンスパーティ 映画会「春男が翔んだ日」 座談会「ふれあい」 フォークダンスの集い バラエティーイベント 相模人形芝居 手話入門 模擬店 もちつき コンサート

*※内容に変更がある場合があります

◆「ふれあい」テーマに
第12回青年文化祭を開催
市教育委員会社会教育青少年
教育係 電話(33)1727

◆「ふれあい」
25にも及び、豊富な内容を持

ご案内いたします。

◆「ふれあい」
ドの美術」があります。だれもが

参加できますので、市民のみなさ

んが多数来場くださいますよう

表をご覧ください。

◆「ふれあい」
教授・永井信一さんの講演「イン

ドの美術」があります。だれもが

参加できますので、市民のみなさ

んが多数来場くださいますよう

表をご覧ください。

◆「ふれあい」
表をご覧ください。</

